

YAMAHA PIANO

サイレント・シリーズ
取扱説明書

安全上のご注意 (必ずお守りください)

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

△ 記号は、**危険、警告または注意**を示します。

○ 記号は、**禁止行為**を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

● 記号は、**行為を強制または指示**することを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

※ お読みになった後は、使用されるかたがいつでも見られる所に必ず保管してください。



警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



本機の内部に触れたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は、必ずお買い上げ店または巻末のヤマハサービス網にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など、湿気の多いところで使用しない。また、本機の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

感電や火災、または故障の原因になります。



使用中に音が出なくなったり、異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障の恐れがあります。至急、お買い上げ店または巻末のヤマハサービス網に点検をご依頼ください。



電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災の恐れがあります。



ACアダプターは、必ず付属品を使用する。

異なったACアダプターを使用すると、故障、発熱、発火などの原因になります。



手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電の恐れがあります。



電源プラグにホコリが付着している場合は、ホコリをきれいに拭き取る。

感電やショートの原因があります。



















本機の内部に異物や液体が入った場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障の恐れがあります。至急、お買い上げ店または巻末のヤマハサービス網に点検をご依頼ください。

注意

この表示内容を見逃した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

-  ACアダプターコードをストーブなどの熱機具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、ACアダプターコードに重いものを乗せない。ACアダプターが破損し、感電や火災の原因になります。
-  電源プラグを抜くときは、ACアダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。ACアダプターが破損して、感電や火災が発生する恐れがあります。
-  タコ足配線をしない。音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。
-  ACアダプターやプラグが痛んだときは使用しない。また、長期間使用しないときや落雷の恐れがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電、ショート、発火などの原因になります。
-  他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小 (0) にする。感電または機器の損傷の恐れがあります。
-  直射日光のあたる場所や暖房機具の近くなど、極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またホコリや振動の多いところで使用しない。外装が変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。
-  テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。
-  不安定な場所に置かない。機器が転倒して故障したり、お客様がケガをしたりする原因になります。
-  本機を移動するときは、必ずACアダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。コードを傷めたり、お客様が転倒したりする恐れがあります。
-  本機を移動するときは、手や足を挟まないようにする。ケガをする恐れがあります。

-  本機を使用しないときは、鍵盤蓋や屋根を閉める。鍵盤蓋や屋根の開閉は、両手で静かに行う。また、自分や周りのかたが、不用意に本機に触れないようにする。鍵盤蓋や屋根に手や指をはさみ、ケガをする恐れがあります。
-  地震のときは、本機から離れる。地震による強い揺れで本機が動いたり転倒したりして、ケガをする恐れがあります。
-  外装をお手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本機の上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。外装や鍵盤が変色・変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
-  本機の上に乗ったり、重いものを乗せたりしない。また、スイッチやツマミ、入出力端子などに無理な力を加えない。本機が破損する原因になります。
-  正常な通気が妨げられるものを、本機のそばに置かない。通気が十分でないと本機内部に熱がこもり、火災が発生したり、本機が破損する原因になります。
-  大きな音量で長時間使用しない。聴覚障害の原因になります。ヘッドフォン、あるいはアンプ、スピーカーと組み合わせて使用する場合は、大音量になりやすいためご注意ください。万一、聴力低下や耳障りを感じたら、専門の医師にご相談ください。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

長時間使用しないときは、必ず電源を切りましょう。

この度は、ヤマハピアノサイレントシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
お求めのピアノを正しくお使いいただくために、お使いになる前に、本書をよくお読みください。お読み
になった後は、必ず保管しておいてください。

本機の特長

ヤマハピアノサイレントシリーズは、長年にわたる楽器づくりの経験と高度なエレクトロニクス技術を結
集して開発した消音型ピアノで、普段は通常のピアノとしてお使いいただけるほか、夜間などにはサイレ
ント演奏でご使用いただけるものです。

そして、当社独自のサイレントシステムを搭載し、アコースティック演奏時よりもよりサイレント演奏時
にも高い表現力でピアノ演奏をお楽しみいただけるものでございます。ご使用に当たりますは、本書を
ご参考にしていただきサイレントピアノを十分にご活用くださいますようお願い申し上げます。

目次

安全上のご注意	1	ピッチコントロール機能	
本機の特長	3	ピッチを微調整する	8
付属品	3	同時発音数の切換え	9
専用ACアダプターの接続について	4	他のMIDI機器と接続する	10
		他の機器と接続する	10
基本編		おかしいと思ったら	11
各部の名前	5	主な仕様	11
消音（サイレント）演奏をする	6	音のエチケット	11
		MIDIインプリメンテーションチャート	12
応用編		取り扱いについて	13
リバーブの設定		保証とアフターサービス	14
リバーブの深さを調節する	7		
リバーブの種類を切り替える	7		

ご使用になる前に

付属品をお確かめください

- *専用ACアダプター・1個 【型番：VQ46140】
- *ステレオヘッドフォン・1個
- *取扱説明書（本書）

設置について

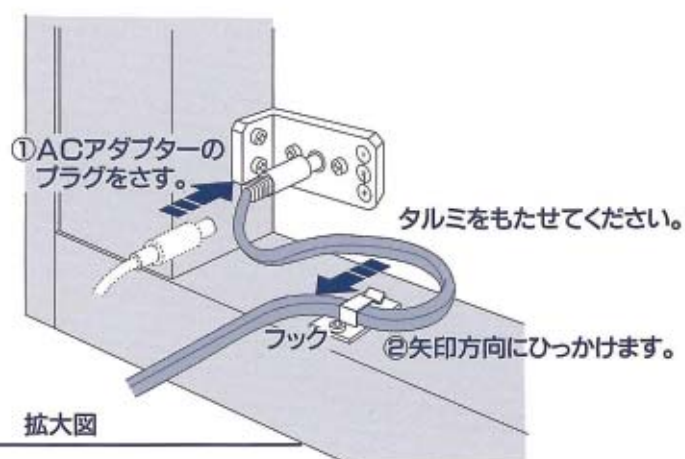
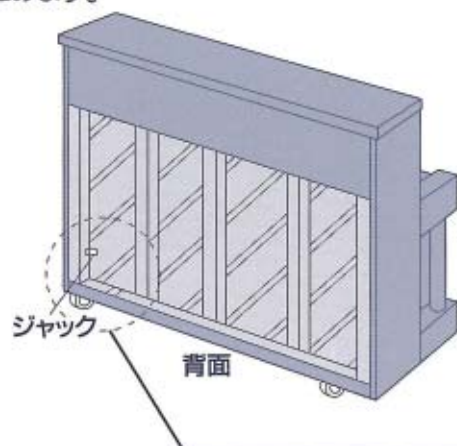
- *窓ぎわなど直射日光の当たる場所は避けてください。
- *暖房機具のそばなど高温な場所、高湿な場所は避けてください。
- *ホコリの多い場所を避けて設置してください。
- *煙、スプレーなどがかからないようご使用ください。
- *ACアダプターは付属品以外絶対にご使用にならないでください。故障の原因になります。

専用ACアダプターの接続について

ピアノ本体背面のジャックに、付属の専用ACアダプターを次のように接続して下さい。

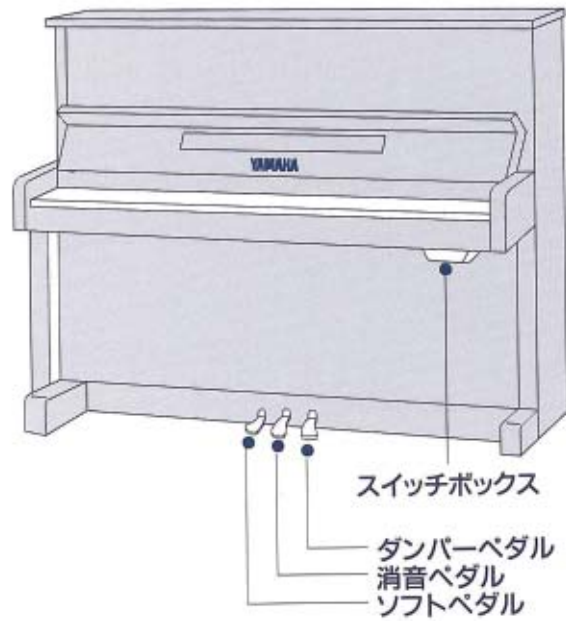
①付属のACアダプターをピアノ本体のジャックに差しこみます。

②ピアノ土台上のフックにケーブルを図のように止めます。

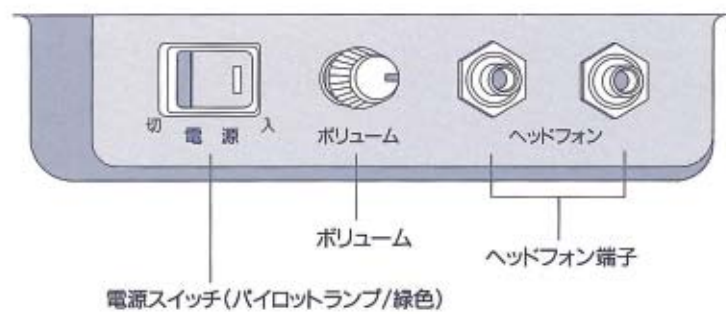


※接続後、ACアダプターのケーブルはタルミをもたせフックで固定してください。
※この図は代表的なアップライトピアノをサンプルとして説明しています。

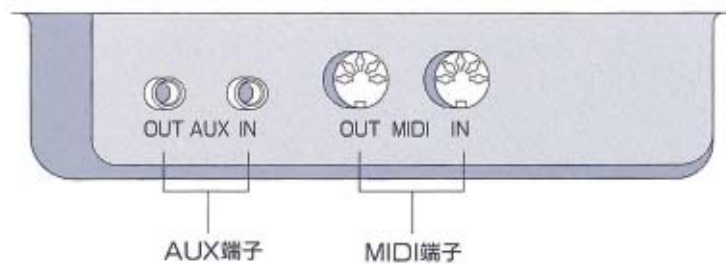
各部名称



スイッチボックス
表面パネル部

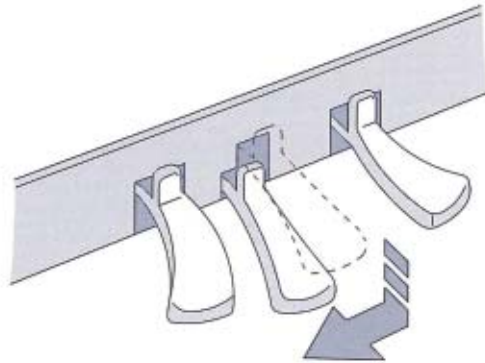


スイッチボックス
裏面パネル部

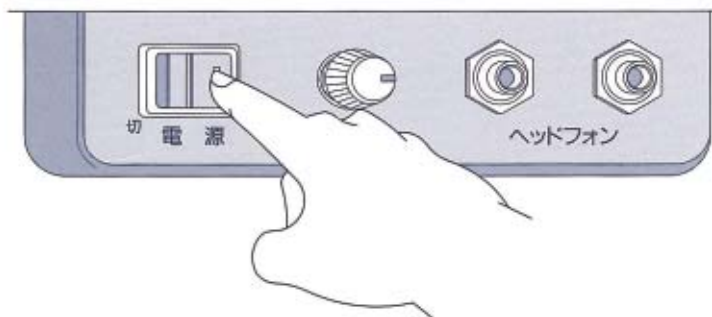


消音演奏をする

- ①消音ペダルを下に踏み込んでから左側にセットして下さい。
これでピアノの音は消えます。



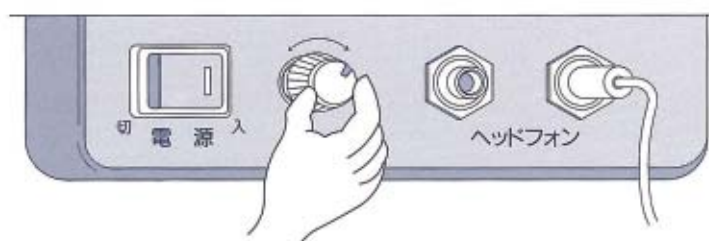
- ②電源スイッチをオンにして下さい。(緑色のパイロットランプが点灯することをお確かめください)



- ③ヘッドフォンをヘッドフォン端子に接続して下さい。(ヘッドフォンは2本まで同時に使えます)



- ④音量ボリュームを調整する。



リバーブの設定

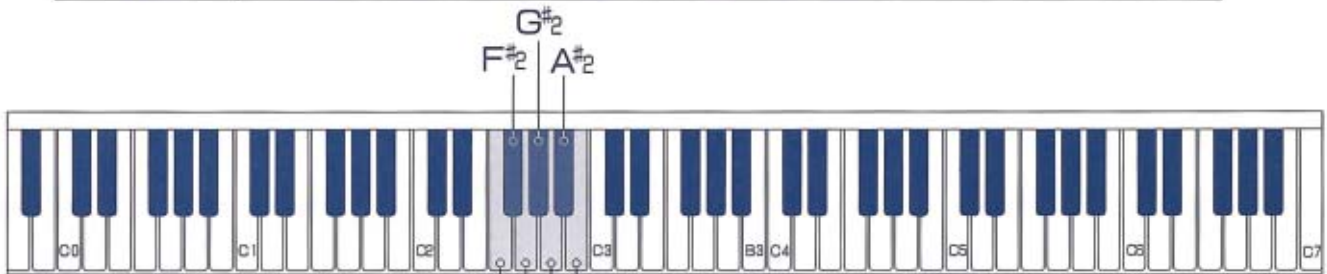
*リバーブは、音に残響をつけ加えて、音の響きを豊かにする効果です。

*普通に電源オンするとリバーブはかかりませんが、図のように白鍵及び黒鍵を押しながら電源オンすることにより、リバーブのタイプ及び深さ(かかり具合)が設定できます。

*黒鍵でリバーブのタイプを、白鍵で深さを設定します。

黒鍵：タイプ

F [#] ₂	ルーム……響きやすい部屋の中で弾いた時のような音になります。
G [#] ₂	ホール1…小さなコンサートホールの中で弾いた時のような音になります。
A [#] ₂	ホール2…大きなコンサートホールの中で弾いた時のような音になります。



白鍵：深さ

F ₂	浅い
G ₂	やや深い
A ₂	深い
B ₂	かなり深い

G₂ B₂
F₂ A₂

設定例…ホール2のリバーブを、やや深くかけたい場合



①この場合リバーブ設定用
鍵盤(G₂とA[#]₂)を押しながら

②電源オン



補足●リバーブ設定は電源オフ時に解除されます。

ピッチコントロール機能

合奏の時などに、音程(ピッチ)を正確に合わせるための機能です。他の楽器と微妙に音程が異なる場合は、この機能を使って音の高さを合わせます。

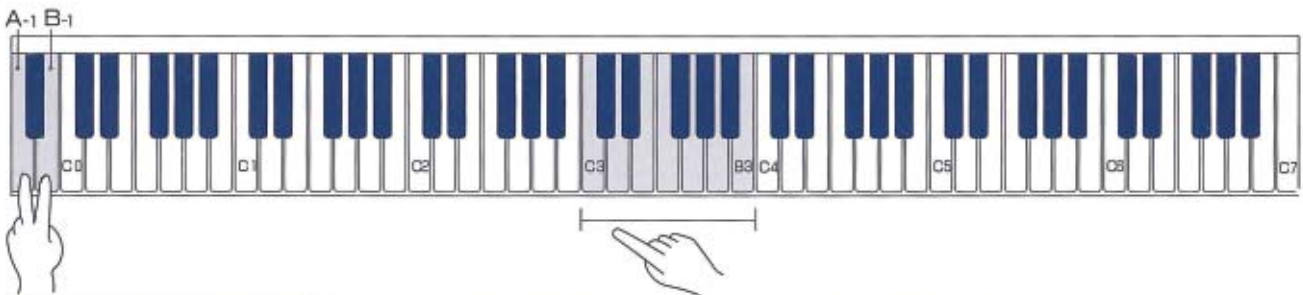
1. 音程を上げる時

①A₁とB₁の鍵盤(左端の白鍵2つ)を同時に押しながら、

②C₃~B₃のいずれかの鍵盤を押します。

1回押すごとに少しずつ音程が上がっていきます。

音を聴きながらこきざみに音程を上げて、他の楽器と合わせてください。

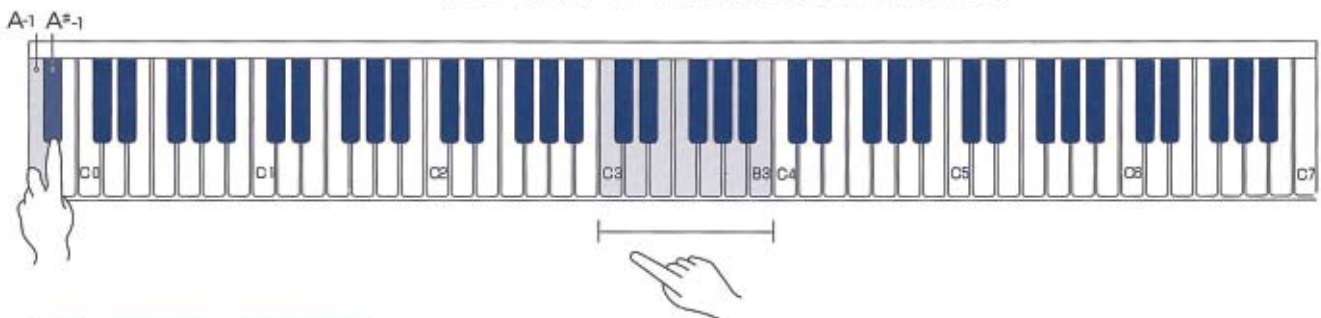


1. 音程を下げる時

①A₁とA[#]₁の鍵盤(左端の白鍵と黒鍵)を同時に押しながら

②C₃~B₃のいずれかの鍵盤を押します。

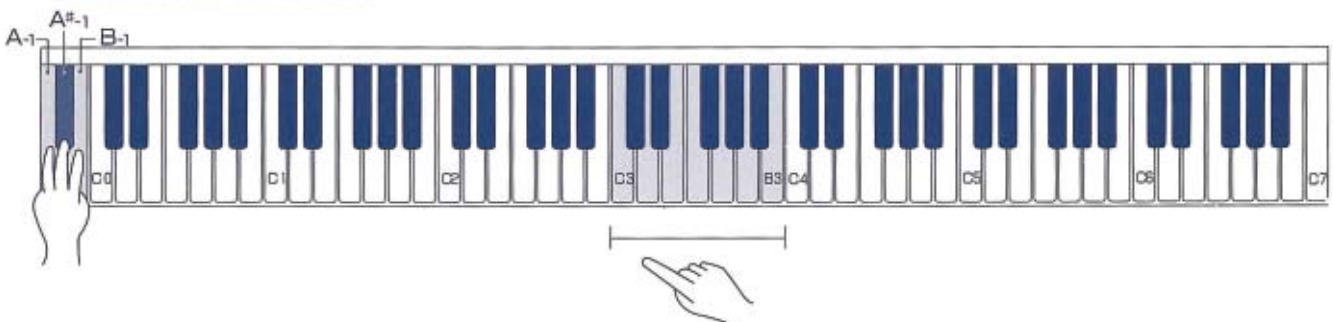
1回押すごとに少しずつ音程が下がっていきます。音を聴きながらこきざみに音程を下げて、他の楽器と合わせてください。



3. 標準状態に戻す時

①A₁とA[#]₁とB₁の3鍵盤(左端の白鍵2つと黒鍵1つ)を同時に押しながら、

②C₃~B₃のいずれかの鍵盤を1回押してください。



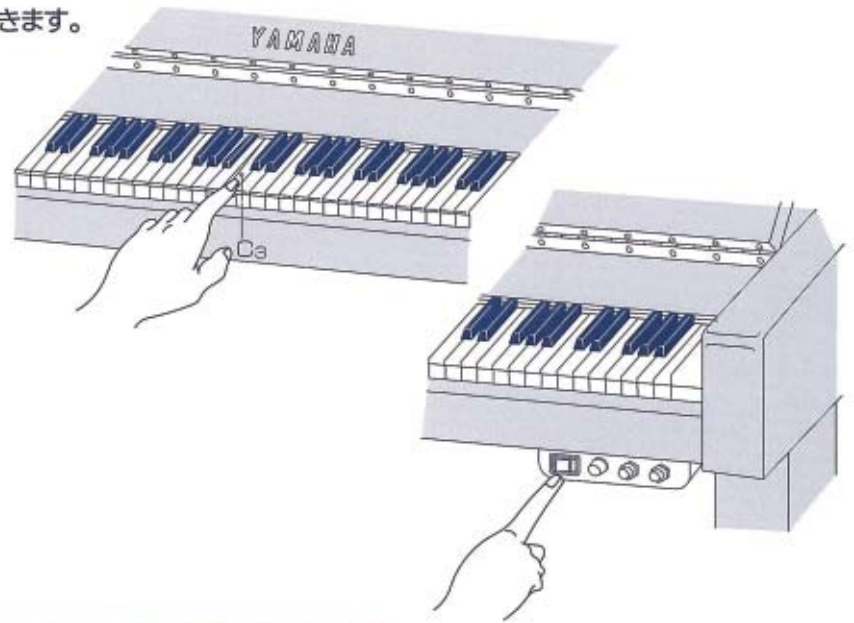
- 補足 ● 音程は、土約50セントの範囲を約1.2セントきざみで設定できます。(100セント=半音)
● 標準状態の時、A₃=440Hzです。
● 設定は電源をオフにするまで記憶され、電源オン時には標準状態に戻ります。

同時発音数の切換え

- * アップライトピアノのサイレントシリーズの最大同時発音数は、通常ステレオサンプリング16音です。
- * 連弾やペダリングを多用する曲など、同時に17音以上の音を必要とする場合は、最大同時発音数を32音（モノラル）に切換えることができます。
- * また、同時にリバーブをかけることもできます。

1. 32音に切換える時

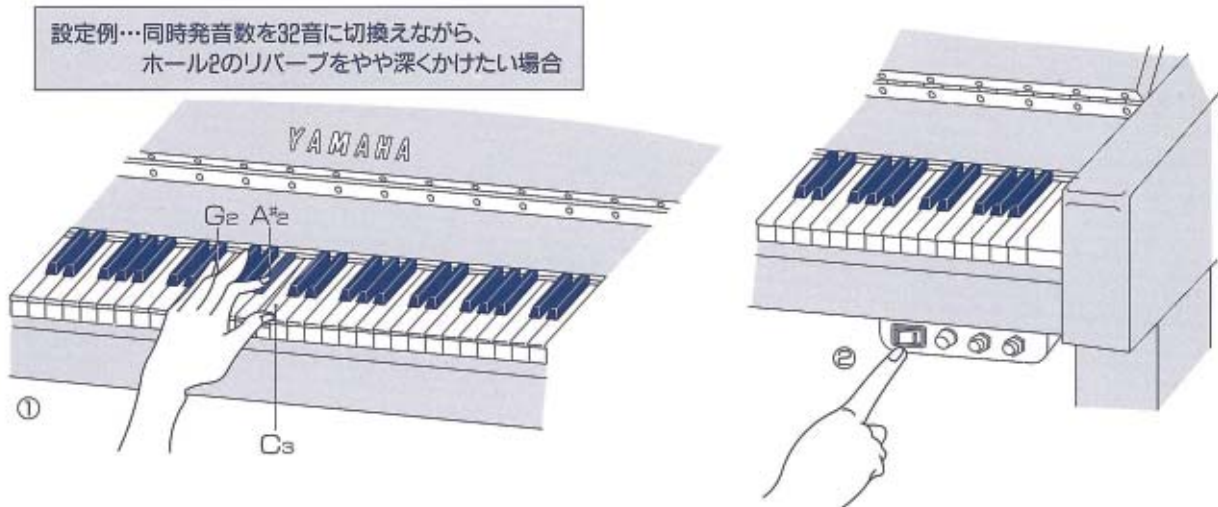
- ① C₃の鍵盤を押しながら
- ② 電源スイッチをオンにしてください。



2. 同時発音数を32音に切換え、リバーブをかける時

- ① C₃の鍵盤とリバーブ設定の鍵盤を同時に押しながら（リバーブ設定のページをご参照ください）
- ② 電源スイッチをONにしてください。

設定例…同時発音数を32音に切換えながら、
ホール2のリバーブをやや深くかけたい場合



補足 ● 最大同時発音数の切換えは電源オフ時に解除されます。

MIDIについて

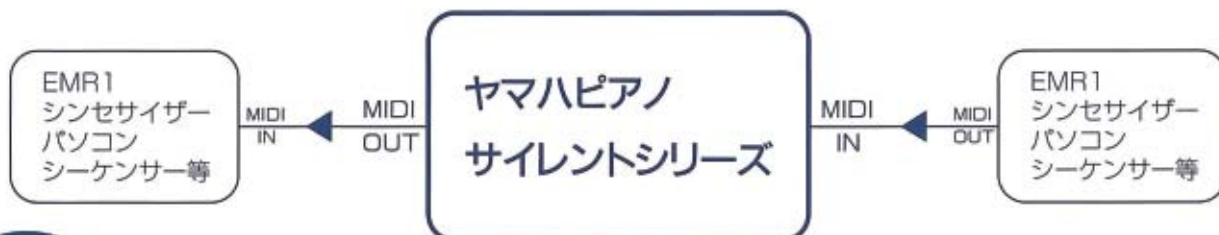
本機には、MIDI IN/OUT端子がついています。ここではその利用例を紹介します。

MIDI OUTでできること

- サイレント演奏して、シンセサイザーや音源モジュールを鳴らすことができます。
- シーケンサーやパソコンに演奏情報を送り、記録することができます。

MIDI INでできること

- シーケンサーやパソコンでサイレントピアノ/内蔵音源を鳴らすことができます。また、その音に合わせてサイレント演奏することができます。



MIDIは、電子楽器同士をMIDIケーブルで接続すると、同時に鳴らしたり、録音した曲を交換しあったりできる、メーカーを超えた世界共通の規格です。MIDI規格の楽器ならどれとも、連携プレイが楽しめます。本機は、MIDI IN、MIDI OUT端子を1つずつ装備しています。

MIDI IN演奏情報を受けとる

MIDI OUT演奏情報を送り出す

MIDI楽器に装備されているこれらの端子同士を、MIDIケーブルでつなぎ、数台ぐらいいまでの連携プレイを楽しむことができます。接続は、必ず楽器の電源を切ってから行いましょう。

AUXについて

本機にはAUX IN/OUT端子がついています。ここではAUX端子の利用例をご紹介します。

AUX OUTでできること

- サイレント演奏をカセットテープに録音できます。
- また、アンプ付スピーカやステレオにつなぐと、スピーカで音が聞けます。
- AUX OUT端子からはヘッドフォンで聞く音と同じ音が出力されます。

AUX INでできること

- 音源モジュールやCD、カセットテープに合わせてサイレント演奏することができます。



AUX IN端子より入力された音には本体のボリュームは効きません。サイレント音とのバランスは相手側(音源、CDプレーヤ)のボリュームで行って下さい。

[注意] 本機のAUX IN/OUT端子はステレオミニジャックです。相手側の端子に対応したケーブル、または端子形状の変換アダプタが必要になります。

おかしいなと思ったら…ちょっとお調べください

電源を入れても音がしない	→	<ul style="list-style-type: none"> ● ACアダプタープラグが抜けているかもしれません。確実に差し込んでください。 ● ボリュームが最小になっているかもしれません。適正位置に調整してください。
消音演奏時にも生ピアノの音が出る	→	● 極度に強く打鍵すると生ピアノの音が出ることがあります。打鍵の強さを加減してください。
市販のヘッドフォンで聞くと音のバランスが異なる	→	● ヘッドフォンの種類によってそれぞれ特性が異なるため、ヘッドフォンによってはバランスが異なることがあります。
市販のヘッドフォンで聞くと音量が異なる	→	● ヘッドフォンの種類によってそれぞれ特性が異なるため、ヘッドフォンによっては音量が異なることがあります。
サイレント演奏時にピアノの本体からカタカタという音がする。	→	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障ではありません。アコースティックピアノ本来の打鍵音です。 ● アコースティックピアノ本来の音色や響きなどを生み出す大切な要素のひとつです。

主な仕様

- **鍵盤** …………… 88鍵 (A₁~C₇・7オクターブ1/4)
- **効果・機能** …………… リバーブ、ピッチコントロール
- **最大同時発音数** … ステレオサンプリング16音、モノラル32音、(切換え可能)
- **電源** …………… AC100V、50/60Hz
- **定格消費電力** …… 12W(DC15V、700mA)
- **コントロール** …………… ボリュームコントロール
- **付属端子** …………… ヘッドフォン端子(2)、MIDI端子(IN/OUT)、AUX端子(IN/OUT)
- **付属品** …………… ACアダプター(1)【型番：VQ46140】、ステレオヘッドフォン(1)、取扱説明書

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドフォンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

取り扱いについて

●電源について

必ずAC100V(50Hzまたは60Hz)のコンセントに接続してください。AC100V以外のコンセントには接続しないでください(本機は日本国内仕様です)。

長期間ご使用にならない時は、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。



●コード類について

コード類の上に物を置いたり、ピアノのふたに挟みこんだりしないでください。

コード類を抜き差しする時は、必ず電源を切ってから、行ってください。

コード類を抜く時は、断線やショートを防ぐため、必ずプラグを持って行ってください。



●他の電気機器への影響は?

本機の近くでラジオ・テレビなどを同時に使用すると、ラジオ・テレビ側で雑音などが生じることがあります。十分離してご使用ください。



●落雷のおそれがある時は?

早めにコンセントからACアダプターの電源プラグを抜きとってください。



●ピアノの外装を磨く時は?

表面についたほこりは、ピアノ用の羽毛かやわらかな布で軽くから拭きします。鏡面艶出し塗装のピアノは、専用のヤマハピアノユニコン(別売)でムラなく拭きあげてください。市販の化学雑巾や外装手入れ剤は成分がわかりませんので、使用はさけてください。



●水に濡れた時は?

万一雨がかったり、水をこぼしてしまった時は、すぐ電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。また煙やスプレーなどがかからないよう、ご注意ください。



●故障かな?と思ったら

ACアダプターがきちんと接続されていないなかったり、意外なところで操作を誤っている場合があります。



●移動する時は?

ACアダプター、コード類をすべてはずしてから、移動します。ピアノの運搬・移動は専門の業者に依頼することをおすすめします。



保証とサービスについて

本機の保証期間は、保証書に記入されたご購入の日付から1ヶ年です(現金、ローン、月賦などによる区別はございません)。また保証は、日本国内にてのみ有効といたします

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げの年月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください(保証書はピアノ本体の上前板内にあります)。

●保証書は大切に保管しましょう。

保証書は弊社が、本機をご購入頂いたお客さまに、保証規定の通りご購入の日から向こう1ヶ年の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させて頂くこととなります。いつでもご提示頂けますように十分ご配慮の上で保管してください。また、後々のサービスに際しての機種別の判別や、サービス依頼店の確認などにも役立ちます。保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。

※付属のヘッドフォン保証規定については、添付のヘッドフォン保証書をご覧ください。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際、必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合には、サービス料金を頂く場合もあります。またお買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいはヤマハにご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行うよう手続き致します。

●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有償にて修理させていただきます。下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要になります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハサービス網までお問い合わせください。なお、補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後最低8年となっています。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子など

ヤマハサービス網

ピアノの保守点検等のサービスに関するお問い合わせは、お買い上げいただきましたヤマハ楽器特約店のほか下記ヤマハにてお受け致しております。

ヤマハ株式会社

北海道営業グループ	〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50(ヤマハセンター)	TEL.011-512-6114
仙台営業グループ	〒980-0804 仙台市青葉区大町2-2-10(住友生命青葉通りビル)	TEL.022-222-6025
東京営業グループ	〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11	TEL.03-5488-5436
首都圏営業グループ	〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11	TEL.03-5488-5437
関東営業グループ	〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11	TEL.03-5488-5469
東海営業グループ	〒460-8588 名古屋市中区錦1-18-28	TEL.052-201-5175
静岡・北陸営業グループ	〒460-8588 名古屋市中区錦1-18-28	TEL.052-201-5435
大阪・神戸営業グループ	〒542-0081 大阪市中央区南船場3-12-9(心斎橋プラザビル東館)	TEL.06-6252-2390
近畿営業グループ	〒542-0081 大阪市中央区南船場3-12-9(心斎橋プラザビル東館)	TEL.06-6252-4341
中国・四国営業グループ	〒542-0081 大阪市中央区南船場3-12-9(心斎橋プラザビル東館)	TEL.06-6252-7644
九州営業グループ	〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL.092-472-2153

所在地・電話番号などは都合により変更することがございます。予めご了承ください。

ピアノインフォメーションセンター

〒430-8650 浜松市中沢町10-1 フリーダイヤル ☎0120-084808
(営業時間 月～金 10:00～12:00/13:00～17:00)

ヤマハ株式会社 ピアノ事業部ピアノ営業部

〒430-8650 浜松市中沢町10-1 TEL.(053)460-2181

